

学校魅力化フォーラム 2023.8.9

少子化に挑む 学校教育の質の維持と進化

鳥羽市教育長

小竹 篤

報告内容

1. 鳥羽市の概要
2. 人口減と少子化
3. 学校統合計画の変遷
4. 答志中学校区で取り組む「寝屋子の島留学」
5. 学校にへき地はあっても、、、
6. 教師間のリモートによる情報交換会
7. 「へき地・複式」へ、、、
8. 最後に



1. 鳥羽市の概要

- ・ 紀伊半島の東端
- ・ 人口：17,033人、15歳以下1,398人（R5.5）
- ・ 市全体が伊勢志摩国立公園
- ・ 有人4離島を含む
- ・ 主産業は、観光業と水産業
- ・ 養殖真珠生みの親・御木本幸吉生誕の地
- ・ 海女数日本一：430人（R1）



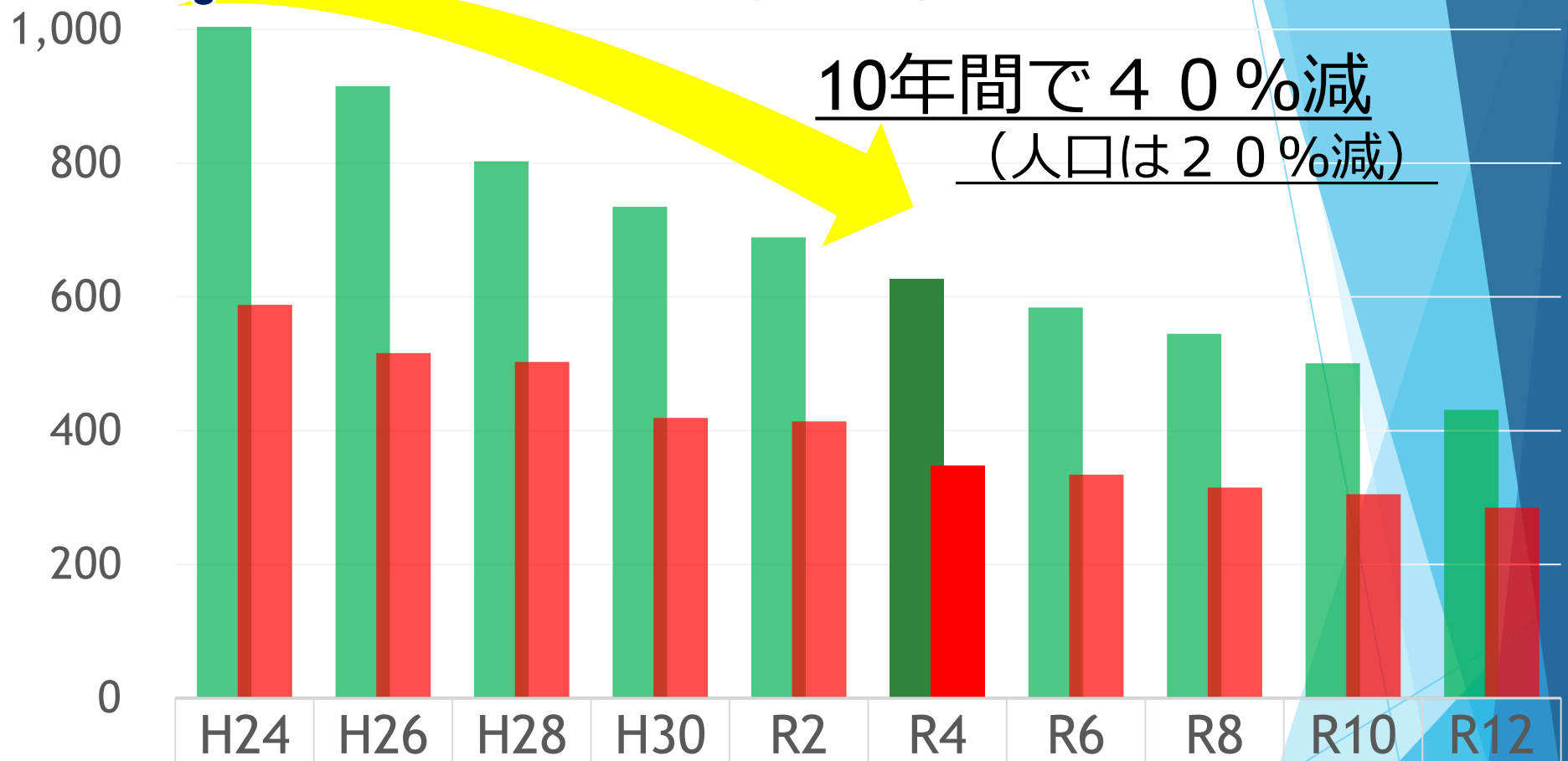
鳥羽立小中学校の配置



2. 人口減と少子化



鳥羽市児童生徒数推移



| | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ■ 児童数 | 1,004 | 915 | 803 | 735 | 689 | 627 | 584 | 545 | 501 | 431 |
| ■ 生徒数 | 588 | 516 | 503 | 419 | 414 | 347 | 334 | 315 | 305 | 285 |

学校数と児童数（小学校） 9校→7校（4複式校）

| 小学校 | H24 | | R4 | |
|------------|--------------|-----------|------------|-----------|
| | 児童数 | 普通学級数 | 児童数 | 普通学級数 |
| 鳥羽小 | 229 | 9 | 172 | 6 |
| 桃取小（離島） | 26 | 3 | H28 廃校 | |
| 答志小（離島） | 110 | 6 | 42 | 4 |
| 神島小（離島併設校） | 13 | 3 | 9 | 3 |
| 菅島小（離島） | 27 | 3 | 16 | 2 |
| 加茂小 | 173 | 6 | 111 | 6 |
| 安楽島小 | 279 | 11 | 233 | 9 |
| 鏡浦小 | 53 | 5 | R2 廃校 | |
| 弘道小 | 94 | 6 | 44 | 5 |
| 合 計 | 1,004 | 52 | 627 | 35 |

学校数と生徒数（中学校） 6校→4校

| 中学校 | H24 | | R4 | |
|------------|------------|-----------|------------|-----------|
| | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 | 学級数 |
| 鳥羽東中 | 332 | 11 | 261 | 10 |
| 答志中（離島） | 57 | 3 | 23 | 3 |
| 神島中（離島併設校） | 7 | 3 | 7 | 3 |
| 加茂中 | 101 | 4 | 56 | 3 |
| 鏡浦中 | 24 | 3 | H25 廃校 | |
| 長岡中 | 67 | 3 | R3 廃校 | |
| 合 計 | 588 | 27 | 347 | 19 |

3. 学校統合計画の変遷



▶ (1) 市政施行（昭和29）～平成26年

○「統合計画」は作っていなかった・・・よりどころがない

※この間、小学校6校、中学校4校の統廃合実施（個別の対応）

▶ (2) 平成27年～令和2年

○第1期「鳥羽市小中学校統合計画」・・・鳥羽市独自の基準

・小学校20名以下

・中学校30名以下 を基準として「統合の検討」対象にする

※この間、小学校2校 中学校1校の統廃合実施

※基準以下になるも、統合を先送りにした学校・・・2校

▶ (3) 令和3年～令和12年（現行計画）

○第2期「鳥羽市小中学校統合計画」・・・基準の見直し

※「鳥羽市通学区審議会」設置

※令和2年度に5回の審議会開催

※令和2年11月に「答申」を受ける

第2期統合計画では 「持続可能な学校統合計画」をめざす

□小学校は、地域活力の拠点

コミュニティ・スクールとして
地域に残す（7校）

学校運営上の支障が出ない限り、保護者の意向尊重

□中学校は、多様で柔軟な進路選択や社会性習得

クラス替えができる学校規模

適正規模（12学級）、適正配置に努める（6 km、1時間以内）

多様な人間関係を構築し選択肢を提供する

教科教員の専門性の発揮

1校に集中する（3級へき地・神島中は例外→通学困難）

第2期統合計画の進捗

○全ての小学校をコミュニティースクール化

- ▶ 計画になかった「鏡浦小学校」が保護者の意向で隣接する「安楽島小学校」へ統合（R3）

○中学校は、地域によって進捗に差

- ▶ 「長岡中学校」は保護者の意向で1期計画を前倒しして、最大規模の「鳥羽東中」へ統合（R4）
- ▶ 「加茂中学校」は、R6、7に「学校選択制」を経てR8統合（校舎、通学路等の改修、スクールバス運行が条件）
- ▶ 「答志中学校」は、地域・保護者の了承を得られず、継続してアンケートと懇談会を実施

4. 答志中学校区で取り組む 「寝屋子の島留学」



(1) 経緯

- ▶ 第1期統合計画で「答志中学校はH34年に、30人を割る」→統合の想定
- ▶ 地域が決起→「寝屋子の島」みんなの学校宣言（中学校の存続）
- ▶ 島の子にも、留学生にも多様で新しい環境の提供（教委）



「寝屋子の島」 みんなの学校宣言

私たちは、答志島の豊かな自然と伝統文化、島に暮らす人々の経験を生かし、未来ある子ども達の為に島育ちを応援していきます。

子育ての島を宣言し、全国から子ども達を受け入れ、分け隔てなく愛情を注ぎ世界に誇れる人財に育てあげる事を誓います。

平成28年12月21日

答志コミュニティスクール実行委員会

実行委員長 濱口 正久

実行委員一同

支援団体

答志町内会 会長 濱崎 靖博

和具町内会 会長 濱口 博

島羽磯部漁協答志支所 運営委員長 中村 幸平

島羽磯部漁協和具浦支所 運営委員長 橋本 計幸

答志婦人会 会長 勢カ 志里子

和具婦人会 会長 山本 嗣代

(2) 募集 (H30~)

地域も守る強い絆
寝屋子制度 (ねやこせいど)

「寝屋子」「朋輩」とは

寝屋子制度とは、浜志地区に傳えている独特の文化で、中学校を卒業した男子がグループを組み、寝屋子と呼ばれる大人の心とで約10年間、共同生活を営む期間の事です。この共同生活の場を寝屋子と言います。日常生活全てを寝屋子で過ごすのではなく、食事などは各自の家で済ませ、夕食後に寝屋子に戻ります。寝屋子では漁業を学んだり、村の祭り(神祭など)の時に大切な役目を任せられたりします。

この不思議な生活は今はなお残っていて、島の若者にごく自然に受け入れられ、島の人の絆を深めており、一緒に過ごした仲間を「寝屋子仲間(ねやこばいり)」と呼び、その絆は一生続きます。

それは「友達」「親友」などという言葉では、到底測り切れない深い絆であり、再びは寝屋子仲間との絆に死ななければ、いつでもどこでも必ず助けをくれます。この制度の存在が浜志地域をまた見る若者を育てているのは間違いありません。

寝屋子制度は、浜志市の無形文化財として認定されています。

【寝屋子の概要】

浜志島(とうしじま)は、三重県高志町にある離島です。高志島の北東約2.5km(伊勢湾の入り口付近)に位置する高志島最大の島で、80%が自然林で占められており、面積は6.98km²、周囲26.3kmの島です。

島には、浜志・和具・新島の3集落があり、2018年の人口は、浜志1,150人、和具450人、新島600人、合計2,200人が暮らしています。

産業は、漁業・養蚕業・観光業が盛んな島で、農民的約70%が農業に携わる仕事に従事しています。煮干し漁船を引つ浜志島では主に「さわら」「しらす」「わかめ」「葉のり」「あびひ」「伊勢あびひ」「鯛」「アズチ」などが多く水揚げされます。

【島民のこころ】

島民の心はほたてたか、「人は人のために」という「助け合い」の言葉を掲げて島民から生活しています。理由の一つには寝屋子制度や朋輩の絆が大きく影響しています。

【島のアクセス】

高志島へは、高志島北島から市営渡船で約30分

全国離島センター (PR, 補助金)
先進事例に学ぶ (研修)
地元主体の体制構築

高志市立 答志小学校

学校教育目標
知ることと心とを身に身につけ、心身ともにたくましく成長の軌道

めざす子どもの姿

- 〇 抱負し、やる気よくまじめにまなぶこと
- 〇 知ることと心とを身に身につけ、行動できる子
- 〇 自ら考え、やりぬく子
- 〇 自ら学ぶ子
- 〇 自ら考える子
- 〇 自ら学ぶ子
- 〇 自ら学ぶ子

児童数

| 学年 | 平成30年度 | 平成31年度 |
|----|--------|--------|
| 1 | 15 | 15 |
| 2 | 15 | 15 |
| 3 | 15 | 15 |
| 4 | 15 | 15 |
| 5 | 15 | 15 |
| 6 | 15 | 15 |
| 合計 | 90 | 90 |

子ども達の活動

- 朝礼・リーダー
- 陸上競技・リーダー
- 保小中合同運動会
- 夏の体験フェスタ

課外活動

- スポーツ少年団
- 剣道・野球
- レスリング (空道の指導で指導)
- 高志市児童会、女子体育会

豊かな自然の中で、浜志の子どもたちと共に学びませんか!!

寝屋子の島留學生募集

募集校 答志小学校・答志中学校

対象 高志市立・私立小・私立中・私立高
年齢が中学・高校・大学・大学院生 (20歳以上29歳以下) (小3~中3)

【寝屋子の島留学にかかる費用】

募集校 (小・中学生)
学費・教材費・生活費 (約2万円) (2年間)

募集校 (高校生)
学費・教材費・生活費 (約4万円) (2年間)

募集校 (大学生)
学費・教材費・生活費 (約6万円) (2年間)

高志市立 答志中学校

学校教育目標
ふるさとを大切にし、心身ともにたくましく成長の軌道

めざす生徒像

- 〇 ふるさとを大切にし、心身ともにたくましく成長の軌道
- 〇 自ら学ぶ子
- 〇 自ら学ぶ子
- 〇 自ら学ぶ子

生徒数

| 学年 | 平成30年度 | 平成31年度 |
|----|--------|--------|
| 1 | 15 | 15 |
| 2 | 15 | 15 |
| 3 | 15 | 15 |
| 4 | 15 | 15 |
| 5 | 15 | 15 |
| 6 | 15 | 15 |
| 合計 | 90 | 90 |

生徒活動

- 高志市立体育少年団
- 高志市立音楽少年団
- 高志市立吹奏楽部
- ようこそ先輩

部活動 ~高志市立の部活動~

- 野球部
- 女子ソフトボール部
- 女子バレーボール部
- バドミントン部

(3) 受け入れ実績

| (人数) | 親子留学 | 島親留学 | 孫留学 | 合計 |
|-------|------|------|-----|----|
| 平成30年 | 1 | | | 1 |
| 令和元年 | 1 | 2 | | 3 |
| 2年 | 3 | 1 | | 4 |
| 3年 | | | 1 | 1 |
| 4年 | | | 1 | 1 |
| 5年 | 3 | | 1 | 4 |

(4) 評価と課題

- ・小学生を単身で引き受けることの困難さ（寝屋子と寝屋親）
- ・中学生の進路保障の課題
- ・親子での受け入れにシフトしてきている（空き家の提供）
- ・子ども同士はよく馴染んでいる（小集団ならではの良さ）
- ・小学校の複式解消に繋がる可能性
- ・地元の自立事業としての方向性を探る
- ・細く長く続けていきたい

5. 学校にへき地はあっても
教育にへき地があってはならない



複式授業の充実

- ・「わたり」の授業→鳥羽方式で
- ・「とも学び」「ひとり学び」の定着



- 小集団同士の学校間リモート授業
（道徳の授業→多様な考え方）
- 複式授業のリモート単式交流
（6年+6年、5年+5年）



ふるさと学習 「世界で一番小さいガイド」



第1回 全国離島サミット

※離島の学校をオンラインで結び交流（今年度は全3回開催）

発案校

福岡県（小呂島）

小呂小中学校（全校10名）

新潟県（佐渡島）

参加
新穂中学校（全校77名/3年生32人）

三重県（神島）

神島小中学校（全校16名）

鹿児島県（奄美大島）

阿室小中学校（全校18名）

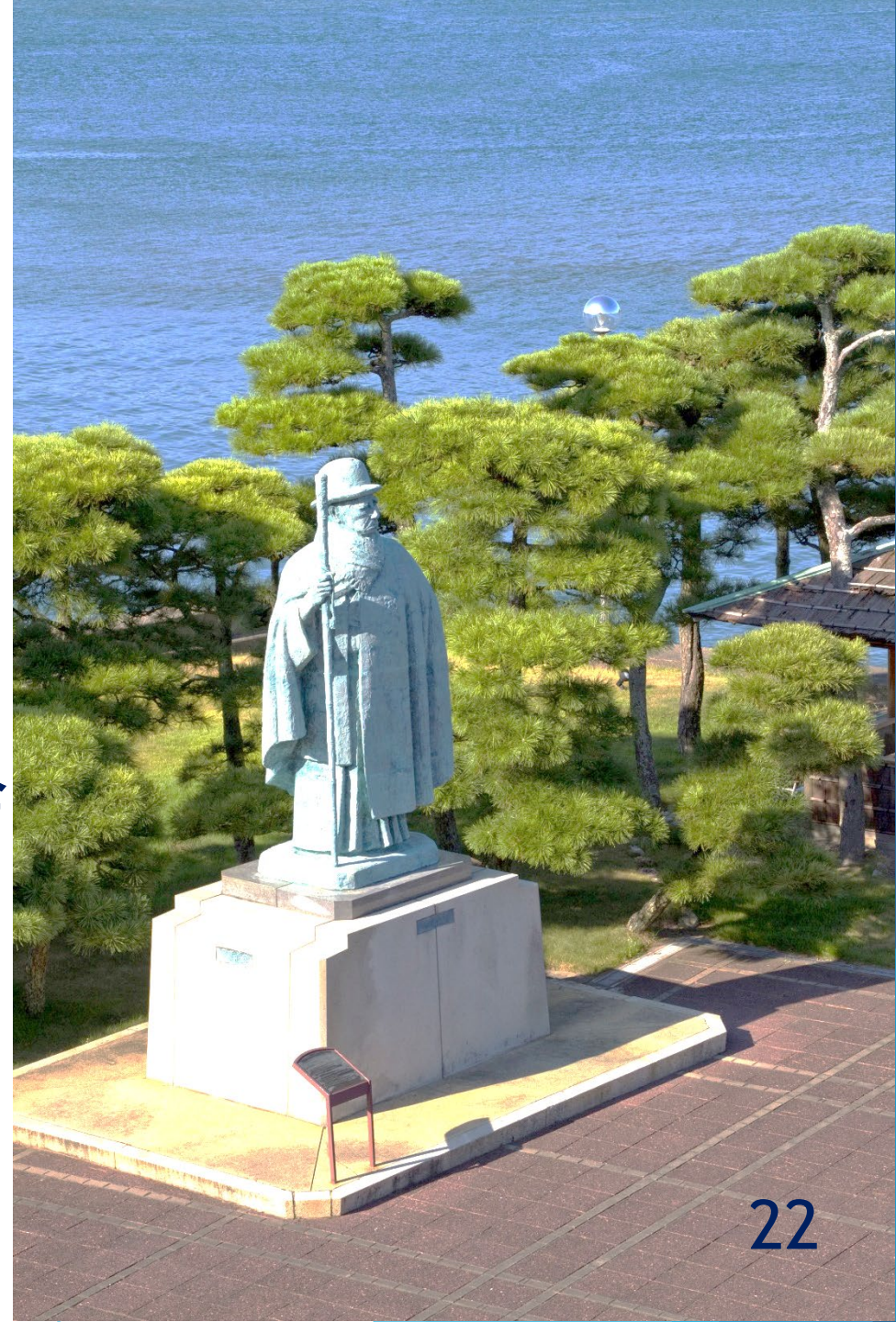
【目的】

- 自らの島の良さや課題を再認識し、
将来、島の担い手となる人材を育成する
- 他県の同年代との交流を通して、他地域を知り
出会いやコミュニケーションを楽しむ

全国離島サミットへ 参加（神島中）



6. 教師間の リモート情報交換会



情報交換の様子（動画）



情報交換会の計画（年間予定）

令和5年度学力向上委員会 情報交換会開催日程

以下の日程を基本（木曜日）とします。複式は年間3回します。

| | | | | | | | | |
|--------|--------|---------------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 5月11日 | 5月18日 | 5月25日 | 6月22日 | 6月29日 | 7月6日 | 9月14日 | 9月21日 | 9月28日 |
| 6年生 | 5年生 | 4年生 | 6年生 | 5年生 | 4年生 | 6年生 | 5年生 | 4年生 |
| 社会 | 数学 | 国語 | 社会 | 数学 | 国語 | 社会 | 数学 | 英語 |
| 理科 | | 英語 | 理科 | | 英語 | 理科 | 国語 | |
| 10月12日 | 10月19日 | 10月26日 | 11月16日 | 11月30日 | 12月7日 | 2月1日 | 2月8日 | 2月15日 |
| 6年生 | 5年生 | 4年生 | 6年生 | 5年生 | 4年生 | 6年生 | 5年生 | 4年生 |
| 社会 | 数学 | 国語 | 社会 | 数学 | 国語 | 社会 | 数学 | 国語 |
| 理科 | | 英語 | 理科 | | 英語 | 理科 | | 英語 |
| 複式 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | | | | | |
| | 7月19日 | 12月21日 | 3月7日 | | | | | |
| | 16:00 | 16:00 | 16:00 | | | | | |

※日時を変更しています

7. 「へき地・複式」へ いらっしやい!



- ▶ 離島→5校
- ▶ 複式学級を有する学校→4校
- ▶ 住所を移しての勤務→2校

複式授業の特殊性
通勤等の不自由さ



移動希望者の減少



教員養成課程での講座開設



「へき地複式教育」の体験

三重県内の
全ての学校へ
離島への勤務勧誘
チラシ配布

令和4年度



鳥羽の離島にある小・中学校には教育の原点があります。私たちとともに、離島での教育に **あなたの情熱** を注いでみませんか？

鳥羽は県内でも数少ない有人離島のあるまちです。そして県内唯一、鳥羽の離島には小・中学校があります。四方を海に囲まれ、水平線からのぼる朝日とさわやかな海風。豊かな自然の中で、島の人々の温かな愛情をたっぷり受けて健やかに育つ子どもたち。5つの小・中学校では、島固有の歴史や文化、産業などが生かされるとともに、学校と保護者、地域社会が一体となった教育活動が展開されています。それはまさにコミュニティ・アイランド。今、求められている教育改革の原点がここに 있습니다。

少人数の子どもたちと笑顔で触れ合い、地域社会と深く関わりながら進める離島での学校教育に、私たちとともに取り組んでみませんか。新しい発見や出会い、かけがえのない貴重な体験が、あなたを待っています。



所在地：鳥羽市神島町 358-3 [3級へき地]

【神島小学校】

児童数：9人

職員数：7人（養護教諭・事務職員：小中兼務）

学級数：3学級（単式1, 複式2）

【神島中学校】

生徒数：7人

職員数：11人（校長・用務員・支援員：小中兼務）

学級数：4学級（単式3, 特別支援1）

施設一体型小中併設校

【通勤・職員住宅】

市営定期船 鳥羽 7:40→神島 8:20（始発）、神島 15:50→鳥羽 16:30（最終）のため通勤は不可。島内の職員住宅に居住して勤務。

職員住宅より徒歩15分、神島港より徒歩20分

職員住宅使用料8,000円（1ヶ月、光熱費・共益費等別）

授業日の夕食は賄いあり（1ヶ月2万円～3万5千円）

【特色ある教育活動】

郷土愛と表現・発信力の育成をねらいとし、小学校では「神島っ子ガイド」や「島っ子太鼓」、中学校では、「離島サミット」や「神島ソーラン」「神島Tシャツづくり」に取り組み、運動会や文化祭、地域の行事や学校間交流でその成果を発表する。「灯油運びボランティア」や「子どもゲーター祭り」も伝統的な取り組みとなり、保護者・島民と協働し地域ぐるみで子どもたちを育てている。小中併設校の利点を生かした小中合同研修等で9ヶ年の一貫した教育活動を進めている。



職員住宅



島っ子太鼓



未来に繋ごう
鳥羽の教育！



